

Rekihaku

ニュースレター



2016.1

特集号

2

群馬県立歴史博物館

リニューアル後の展示室紹介 中世と近世

表紙写真

木造伝新田義貞椅像

(太田市・総持寺蔵／太田市指定重要文化財
写真：太田市教育委員会提供)

本像は鎌倉時代の一本造りの神像（あるいは隨身像）ですが、その氣迫のこもった憤怒の表情から、新田義貞像と伝えられています。総持寺は新田氏の居館跡に建てられた寺院で、史跡新田荘遺跡の構成要素のひとつです。



中世

中世の展示室では、歴史が直感的に楽しめる3つのしかけを用意します。

最初は、前橋市の公田池尻遺跡のはぎ取り展示です。ここでは、天仁元(1108)年の浅間山大噴火後の前橋台地で、水田の再開発に挑んだ人々の痕跡が読み取れます。



ぼんしょう ながのおりあきましん
梵鐘・長尾憲明寄進(高崎市・個人蔵)

次は、列島を駆け巡った新田一族の活動をダイナミックに上映する南北朝動乱シアターです。

最後は高崎市の山城、神保植松城のジオラマです。この城は、戦国時代の小領主神保氏の居城です。景観模型と映像で、城の全容と発達の過程を復原します

中世

「長楽寺文書」と南北朝動乱

見どころ1

「長楽寺文書」は南北朝の激動を今に蘇らせる中世文書の至宝です。南北朝時代の関東管領、そして上野国の守護として上杉氏発展の基礎を築いた武將に上杉憲顕がいます。「長楽寺文書」に収められている憲顕署判の奉書は、憲顕が幼少の鎌倉公方足利基氏を補佐し、基氏の命を受けて政務を執行しているものです。憲顕は後に基氏の父尊氏との抗争に敗れ失脚しますが(観応の擾乱)、青年となった基氏に請われて復活します。



うえすぎのりあきほうしよ
上杉憲顕奉書[複製](原品は長楽寺蔵、重要文化財)

中世

戦国の上州ブランド

見どころ2

戦乱に明け暮れた戦国時代は、一方で各地にもものづくりの拠点がめばえ、広く流通した時代でもありました。

火山の多い上野国には石材や鉱物資源が豊富で、南牧の砥石や草津の硫黄などが軍需物資として戦国大名に利用されました。手工業製品では、板鼻周辺(安中市・高崎市)の甲冑師集団が製作する兜が各地の武將に好まれ、京都や堺では仁田山(桐生市)で生産される紬(絹織物)が人気を博しました。



ろくじゅうに りん こ せいしやう
六十二間小星兜
のりくに 憲国作(左) くにひさ 久作(右)



近世

近世展示室では、江戸時代の人やものの動きがテーマです。

まず、徳川幕府を支えた上野国の大名にゆかりのある資料や、農民の生活が垣間見える資料を展示します。

続いて、戦乱のない泰平の世の中で躍動する民衆の様子を伝えます。養



蚕・製糸・織物業などの産業が発達すると、江戸の文化が広がりますが、その背景には、交通網の整備がありました。特に、水陸交通の結節点であった倉賀野宿について、ジオラマを用いて展示します。

最後に、天明の浅間山大噴火や幕末の動乱など、動揺する武家社会を資料やパネルを通して紹介します。

井伊直政所用 黒糸威金小札毛引胴丸

近世 見どころ1

蚕糸・織物業の隆盛

『桐生書上家織物取引図』からは、東日本の絹織物産地として繁栄した桐生の様子を窺い知ることができます。店先で賑やかに行われる織物取引、2階で養蚕から機織に従事する女性達、道行く人々の様子などが表現されています。

また、養蚕書や蚕の守り神として信仰された猫絵、座繰り器や糸市図、高機の錦絵を展示して、江戸時代中期に上野国全域に広がった養蚕・製糸・織物業の隆盛ぶりを伝えます。



絹本著色 桐生書上家織物取引図

近世 見どころ2

天明3年、浅間山の大噴火

天明3(1783)年、浅間山で大きな噴火が起こりました。『浅間山吹出之絵図(一)』からは、噴火による泥流が、近隣のみならず吾妻川、利根川流域にも大きな被害を与えたことが分かります。この噴火と天明の飢饉が重なり、農村の荒廃が進んでいくことになりました。

近年、このときの泥流の下から数多くの遺物が発掘されています。ここでは出土した生活用具なども展示し、当時の人々の様子を伝えます。



浅間山吹出之絵図(一)

ご 報 告

お出かけ体験

当館では、県内の幼稚園・保育園・保育所の年長児を対象に、出前教室「お出かけ体験」を実施しています。昔の遊び道具を作る活動を通して、小さいお子さんたちに「むかし」に興味を持ってもらうことを目的とした教育普及活動です。作る遊び道具は、「かざぐるま」、「ミニ凧」、「万華鏡」の3種類です。人気のある体験プログラムで、毎年、予約受付開始日から数日で受入数に達してしまいます。

今年度は10月と11月の2か月間に74園にお伺いし、体験学習を行いました。生き生きと楽しそうに活動に取り組む子どもたちのきらきらと輝く目が印象に残る2か月間でした。ご利用いただいた皆様、どうもありがとうございました。



ミニ凧



かざぐるま



万華鏡

ご 案 内

1月～2月の「わくわく歴史教室」

- ①日時：1月16日(土)午後1時～午後3時
場所：子供のもり公園伊勢崎まゆドーム(伊勢崎市)
内容：ミニ凧作り
費用：無料(材料・道具は全て博物館で用意いたします)
申込：当日、直接会場にお越しください。
- ②日時：2月14日(日)午後2時30分～午後3時30分
場所：土屋文明記念文学館(高崎市)
内容：浮世絵多色刷り体験
費用：無料(材料・道具は全て博物館で用意いたします)
申込：事前予約が必要です。土屋文明記念文学館へ電話でお申込みください。(定員40名)
- ③日時：2月28日(日)午後2時30分～午後3時30分
場所：土屋文明記念文学館(高崎市)
内容：浮世絵多色刷り体験

費用：無料(材料・道具は全て博物館で用意いたします)
申込：事前予約が必要です。土屋文明記念文学館へ電話でお申込みください。(定員40名)

歴史特別講座黒田日出男の歴史推理 参加者募集

日 時：平成28年3月6日(日)午後1時30分～午後3時
場 所：富岡市生涯学習センター
テーマ：松平忠直卿と又兵衛風絵巻群
定 員：200名(応募者多数の場合は抽選)
聴講料：無料
申 込：往復ハガキ。2月10日(水)必着
往信面に講座名・住所・氏名(ふりがな)・年齢・性別・電話番号を、返信面に住所・氏名を記入。
1枚のはがきで2人まで申込みできます。
(2人申込みの場合は2人の氏名を明記)